

<社会福祉学科> (認定課程：高一種免(福祉))

履修年次		到達目標
年次	時期	
1年次	前期	全人的な人間形成を目指す全学共通科目を中心に学ぶことにより、「人間」「国際」「社会」「自然」の幅広い教養を身につけ、社会人としての常識や基本的マナーを修得する。また、大学での学びを理解した上で、社会の課題を探究し、実践していく姿勢を身につける。さらに、教職の専門性や求められている教員像、教職の意義や役割、職務内容について理解することができる。
	後期	教育方法や教育技術に関する基礎的な理論を理解し、情報機器の活用を含めた様々な教育方法や学習指導案の作成方法を修得する。また、教育の理念並びに教育の歴史や思想を理解し、それらに基づき、教育の本質に関して深い考察ができるようになる。
2年次	前期	教育に関する社会的、制度的、経営的事項を理解し、現代社会の教育問題をこれらの観点から検討することができる。また、教員として必要とされる教育心理学の基礎知識を修得し、子ども達の発達段階に応じた対応の必要性を理解することができる。さらに、教科に関する専門的事項を扱う科目を通じて、専門的知識を深めることができる。
	後期	自身の教員としての適性を考え、特別の支援を必要とする生徒に対する理解を深めるなど、教職を目指すものとして必要な資質の向上に常に意欲的に取り組むことができる。
3年次	前期	教育課程の編成に関する基礎的な理論や編成方法を修得し、学習指導要領の変遷や現行学習指導要領の特徴についても十分に理解している。また、総合的な探究の時間の指導法を理解し、課題探究的な授業を構想することができる。加えて、教育相談や特別活動の基礎的な理論や方法を修得し、教育実践に活かすことができる。さらに、福祉や介護の指導法の基礎を修得し、教育実践に活かすことができる。
	後期	生徒指導や進路指導の基礎的な理論及び方法を修得し、個々の子どもの特性や状況に応じた指導を考えることができる。また、教員志望の意識を強く持ち、教育実習生として教壇に立つための基本的な技能や素養、教科に関する専門的知識を身につけている。さらに、模擬授業を実施することで、修得した指導法を活かした、より効果的な授業を実践することができる。
4年次	前期	教育実習の経験を経て、教員を目指す上での自己の課題を自覚することができる。また、教員を志望する者として、教育の本質を常に追求し、学び続けようという姿勢を持つことができる。
	後期	教育現場に立つ者として、教員の使命や責任を深く自覚している。また、本学の教員養成に対する理念や本学が目指す教員像に合致し、高等学校「福祉」の教員免許を得るにふさわしい人物となることができる。